

別記様式（第10条関係）

議会報告会等実施報告書 【A班】

令和4年 11月 18日

開催日時	令和4年 11月 8日 午後2時 ～ 午後3時	
開催場所	生きがい活動支援センター内	
出席議員 (文教福祉常任委員会)	副委員長 佐名 かよ子 (司会、報告) 委員 吉田 正 (撮影) 委員 伊藤 浩 (記録) 委員 倉知 敏美	
参加町民数	大口町社会福祉協議会 4人	
実施内容	議会報告会	
	意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・大口町の介護事業は、介護予防に力を入れている。予防か経営かを考えると難しい。 ・デイサービス（通所介護事業）、ミニデイサービスの特徴についての説明と現状をお聞きした。
要望・提言等	<p>経営が苦しく、予防か経営かを考えると難しい。 他に、別の予防事業を受託できること（職員配置や、面積の確保など含め）デイサービスなど充実させることができるか。（詳細は別紙）</p>	
その他特記事項	特になし	

大口町議会議長 齊木 一三 様

議会広聴広報常任委員会委員長 丹羽 孝 様

文教福祉常任委員会 委員長 大竹 伸一

議会報告会等実施報告書 【A班 別紙】

相手側：大口町社会福祉協議会

作成：令和5年1月10日

文教福祉常任委員会 委員長 大竹伸一

当該団体からの要望・提言等

A班：大口町の介護事業・デイサービス（通所介護事業）に関し問題提起があり、以下に要望・提言等を明記する。

視点1・大口町の介護事業

懸念：高齢化社会を迎え高齢者の増加

介護保険法に沿って利用者が能力に応じ可能な限り、自立した日常生活を営むことができるよう支援をおしまない、介護サービス事業を提供している。リハビリに力を入れ、寝たきりにならないよう介護予防に重点を置き認知症にならないようカフェも経営している状況である。

視点2・デイサービス（通所介護事業）

懸念：増加傾向にある認知症患者の改善

現在の設備である入浴施設も希望者には提供しているが、家庭的で自宅のような環境であるとの利用者にはとても好評であるが、要介護4・5の方にとっては利便性に欠けることから、機能が整ったものを設置したりトイレ同様に広い設備が望ましいとの話もありました。

事業としての収益は少なく、経営は苦しいので介護予防は収益が伴わない。社協は介護予防に力を入れているが、予防か経営かを考えると難しい状況に来ている。